

認定NPO法人ぱれっと 2021年度 事業報告書

1 はじめに

今年度においても、コロナの影響を受けながらのスタートとなりました。行事等については、なるべく年度当初は入れないようにしてきましたが、それでもいくつか用意していた前半部分の行事は実施が難しくほとんどが実行できませんでした。それでも後半オミクロン株が流行るまでのわずかな間に、感染予防に注意しながら研修や小規模なイベントなどを行うことができました。ただ地域向けのイベントや延期していた15周年記念イベントなどは実施することができませんでした。

事業については、2月のグループホームやデイサービスでのコロナ発生までは、対策を行いながら休むことなく継続ができていました。ただ、一度出てしまうとその影響は大きく、対処にたいへんな労力がかかり、混乱を招きかねないことなどが分かりました。また、直接的ではなくても、外出支援の利用を含め利用を控える方もあたりし経営的にはかなり厳しい状況にもなっています。

一年をとおしてみると、コロナのことばかりになります。利用者、職員共に緊張の連続で精神的にも疲れが蓄積され、生活や業務にも支障をきたしており今後も心配されるところとなっています。

次年度も同様な状態が続くかもしれません。対策はしっかりしながらも、少しでも明るく元気に笑えることができるように取り組んでいければと思います。

その他目標と達成状況については以下に記載します。

・認定NPO法人としての定着化を図ります。

今年度も順調に支援をいただき、3,000円以上の寄付者が100名を越えました。コロナ禍で厳しい中、また、期待に応えることが十分にできない中での支援に感謝するところです。次年度は認定NPO法人の更新時期（5年ごと）に当たるのでしっかりと総括して継続して認定NPO法人として承認いただけるように進めていきたい。

・コンサルタントの支援を継続し、魅力ある法人となります。

シデカスの寄玉氏にコンサルタントを継続してお願いしています。理事会や運営会議にも参加いただき法人の状況を確認いただきながら各所関わって頂きました。就労プロジェクトの継続、デイサービスプロジェクトではコロナ禍でまだ十分な成果がでてはいないものの「図書館カフェ」の取り組み、今年度からは新たにコラージュでも取り組みを始め、「外出資源マップ作り」を新たに始めています。加えて研修等でも組織の連携体制等を深めるため企画・進行をお願いしました。

・十分な人材の確保と定着を図ります。研修等を積極的に行い職員の質の向上を図ります。

今年度も人材の確保ができませんでした。研修に関しては、行動援護従業者養成研修や、同行援護従事者養成研修を開催し、未受講の職員の受講だけでなく、Zoomなどを活用して有資格者も見識を広げられるように取り組みました。

また、ヘルパー研修の実施、外部から神戸市スポーツ協会や盲導犬協会から講師をお招きし

での研修を行うなど取り組みました。

・権利擁護などの社会問題に対し提言できるように学び、働きかけることができる組織化を目指していきます。

まだ社会に対して権利擁護の問題などを提言出来ずまでは行きませんでした。ネットワークの活動などを通して、わずかながらも伝えることができたのではないかと思います。

・新規のグループホームの開設を目指します。行動障害の方にも対応できるグループホームの開設に向け準備を本格化します。

新しいグループホームを造るまでには至りませんでした。グループホーム設立・運営委員会などを通して、見学や意見交換を行い、次のホーム設立に向けて話し合いを継続しています。

・次世代交代ビジョンをさらに鮮明にしていきます。

コロナ対応に追われることが多く、ビジョンの鮮明化にはしっかりと取り組むことはできていません。新規職員の採用も含め次年度への課題となっています。

・介護タクシー事業を実施します。

介護タクシーではなく、法人の現状に合わせた福祉有償運送を実施することになりました。令和3年9月に認可を受けています。今後体制を整えながら運用を行っていきます。

2 特定非営利活動に係る事業

1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1)6、10、13、14、21、

今年度のコラージュもコロナの感染状況に一喜一憂する毎日でした。感染者の数が増えると緊張感も走ります。たぶん他の職業の方では感じないプレッシャーもたくさんありました。ただご利用者様もマスクやソーシャルディスタンスに慣れてこられて、昨年度に比べると少しは外出の幅が広がったように思います。それでもコロナが始まる前の状況にはこの先戻ることはないのではないかという不安でいっぱいです。すべてをコロナに支配されていたわけではないのですが、感染状況によって仕事量も内容も大きく変わってしまうわけですから、職員全体がギクシャクした雰囲気になってしまっているようなこともあり、お互いの意見を出し合う機会を設けたことも何度かありました。しかし意見のぶつかり合いや職員同士の摩擦も見方を変えたとこの仕事に対する個々の意欲の表れだと思い、発した熱が何かを生み出してくれると信じています。

昨年度のコラージュのテーマである“一緒に社会参加をしよう”ということでは、アウトドアに目を向けてみたりと今までと違った活動もしました。ボランティアさんに参加してもらっての行事は叶わず大きな啓発活動は出来ませんでした。今後の活動の方向性を変えていくことが出来るかもしれないという期待に繋がったと思います。個別のニーズに沿った支援や支援内容の共有は各サ責中心に ICT も活用しながら徐々に整えていっています。経営目標に掲げている特定事業所加算Ⅰの要件は今年度も達成できませんでした。要件の中の重度障害者の受け入れ割合が満たさないのですが、コラージュではそのことを条件にサービスの受け入れはできないので達成は難しいのかとも感じています。制度理解に関しては第1回ヘルパー研修で障害制度や介護保険制度の基本の振り返りをしました。

ハイクオリティには遠いかもしれませんが、研修や個人での勉強を怠らないようにしてきました。ICTの活用も徐々に幅を広げて、仕事の効率化や正確な報連相が出来るようになってきています。人材不足は大きな課題ではありますが、少ない人員だからこそ築ける信頼関係や専門的な支援が出来る事業所を目指してきました。

【コラージュイベント】

・BBQ大会 7月3日(土曜日)予定⇒11月6日(土曜日)に延期して、農業公園 BBQ サイトで開催

バーベキューを堪能🍖



パターゴルフ 1位 2位



🌸コスモスも満開でした



🏆 パターゴルフ大会
はじめての方も頑張りました

・クリスマス会 12月4日(土曜日) 喫茶エール⇒ぱっれっとデイサービスフロアに変更して開催



段ボールで作った
クリスマスツリー🎄



シルエットクイズ



【ヘルパー研修】

第1回ヘルパー研修 6月27日(日)

～私たちが携わっている仕事への理解を深める～

障害福祉のテスト

真剣に取り組んでいます



介護保険の仕組み
のおさらい



・第2回ヘルパー研修 12月19日

自立支援協議会オブザーバー近澤範子氏を講師にお迎えして

～精神障害をもつ利用者へのかかわり方の研修～

直接支援での質問に答える内容での講義



それぞれの意見をグループディスカッション

- ・第3回ヘルパー研修 令和4年2月20日予定でしたが、コロナ感染拡大の為中止
→虐待防止研修資料配布とレポート提出に変更

【ヘルパーミニ研修】～身近な事例に対して意見を交換する研修～

- ・第1回ヘルパーミニ研修 8月26日(ぱれっとデイフロア)

利用者様からの様々な要望への対応についての事例を他の視点で意見を出し合い検討しました。

- ・第2回ヘルパーミニ研修 1月25(枝吉地域福祉センター)

『自立支援と合理的配慮について』『利用者さんの情報を関係者で共有する方法』についてを身近な例をあげて研修をしました。

・コラージュ利用者数

居宅介護 35名 重度訪問介護 1名 同行援護 4名 行動援護 38名

訪問介護 7名 介護予防訪問介護 3名 神戸市移動支援 50名 明石市移動支援 9名

淡路市移動支援 1名 たすけあいサービス(法人独自有料事業) 12名

合計 160名

2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続B型事業 生活介護事業)

※定款(1)6

今年度もコロナ感染流行に伴う、緊急事態宣言(計81日間)・まん延防止策(計59日間)が発令された。緊急事態宣言中につきましては、昨年度同様に公共交通機関の利用をやめていただき、徒歩のみ方以外の送迎を行った。普段から皆さんが対策をしていただける甲斐もあつてか、職員、契約者共に発症者は現時点まで0人となっています。

作業提供に関しても、これまで取り組み続けている「就労プロジェクト」では、徐々に新規の件数も増え、また、下請け作業に関しても、多少の浮き沈みはあるものの比較的安定した作業提供は出来ている。工賃支給に関しても規定通りの支給が行えている。

今年度は、常勤職員1名とパート1名と増員し、支援の幅が今後広がりを見せるのではと期待しています。

実施行事等(年間行事)*コロナ対策として内容の変更あり。

・花見外出★ 令和3年4月5日

例年、外出先で弁当を食べるプランではあるが、外出時間を短縮するために事業所内での調理活動を行った。



・忘年会 令和3年12月29日

店舗の協力もあり、貸し切りにて会を開催。

参加利用者: 21名

・日帰り旅行 令和4年1月22日

参加利用者: 16名

コロナ禍の影響を考え、旅行は中止。代替案として行事を開催。



就労&生活介護 家族会



第1回 家族会 令和3年9月2日

第2回 家族会 令和4年3月3日開催予定

作業関係

下請け作業(バリ取り作業、リネン作業、ジンニング作業)

今年度も昨年度同様に継続した作業を行っている。季節限定のものやコロナの影響も少なからずあるが、比較的安定した作業提供が行えている。



授産製品(竹粉石鹼、竹パウダー、花苗など)

西区自立支援協議会と社会福祉協議会と共同で「KOBE にし😊ショップ」の活動にも参加している。西区役所内で月に1、2回の販売会を行っており、今年度は新たに木の実を使った「工作キット」を作成し、販売を行った。又、敷地内に設定している「無人販売所」においても継続して取り組んでいる。



個人宅除草作業

年間通して継続中 7件



竹林作業

・神戸市役所 西建設事務所 より伊川河川敷の竹林作業(10月~11月)



- ・神戸市平野地区 竹粉碎 (11月～12月)
- ・個人の竹林整備 3件 (現在2件の新規問い合わせ対応中)

多機能利用者数 就労継続支援B型事業 19名 生活介護(就労系)3名

3) デイサービス(地域密着型通所介護、介護予防通所介護 共生型生活介護)

※定款(1)14、16

昨年度からのプロジェクト、「図書館カフェ」を目指して取り組んできましたが、コロナ禍における緊急事態宣言や蔓延防止などもあり、思うように進められずに来ています。それでも多くの古書籍の寄贈などを受けて、6月26日、地域の民生委員やふれあいまちづくり協議会の方にお声掛けさせていただき、お披露目会を実施し、ご意見などをいただいた上で、12月5日、地域の方をお招きしての図書館をオープン、月1回の日曜日の開所などを行うようになりました。

まだコロナの影響で積極的な活動が出来ず進展はしていませんが、ここから利用者との交流も進め、将棋や麻雀など関わりやすいものから取り組みを目指していきたいと思っております。

納涼祭と忘年会を開催しました。ソーシャルディスタンスを行いながらギター演奏での歌を皆で歌ったり、ビンゴゲームなどを行ったりと、久しぶりのイベントを楽しみました。日帰り外出も行いました。また創作活動にも力を入れて制作しアートシップ明石に展示させていただきました。

ボランティアの方の活動も定着化しています。金曜日に余暇支援(将棋やアート活動の補助)で一人が毎週来ていただくようになりました。また麻雀などのサポートでご夫婦でボランティアで来て頂いています。利用者の方とも打ち解け、気持ちのある支援をいただき感謝しています。

納涼祭 8月18日
日帰り旅行 10月13日
忘年会 12月27日



アートシップ明石見学

デイサービス利用者 計 15名

地域密着型(要介護)8名 介護予防通所介護(要支援)4名 共生型生活介護 3名

4) 相談支援事業

特定相談支援 一般相談支援 障害児相談支援

※定款(1)8、9

今年度も3名の体制で取り組んでいます。年度当初から報酬体系が変更になるなど少し混乱もありましたが、現場訪問や担当者会議をしっかりと行っている当事業所においてはプラスになるものもありました。しかしながら十分な報酬単価ではなく、収益事業としての厳しさは継続しています。

今年度の特徴的には、地域移行支援はコロナもあっては、少人数にとどまっています。しかしながらピアサポーターの育成研修等にシンポジストの一人として招かれ実践報告を行うなど、神戸市の地域移行支援の取り組みに貢献できたのではないかと思います。

特定相談(計画相談)新規に依頼が多く、多い時には月に5件以上の新規を受ける場合もありました。

また、区役所や支援センターからの困難ケースの依頼も多くあり対応に苦慮するところもありました。逆に言えば、行政等からの信頼は厚くなっているのではないかと思います。

また、研修の参加をさらに積極的に行っています。神戸市西区の相談支援事業所連絡会への参加や、明石基幹相談センターで中心の事例検討会や連絡会にも出来る限り参加し、スキルアップや事業所間の連携を高めるようにしてきました。

次年度においては、現状のスタイルを維持しながらも記録の整備等を高めていけるように進めていきたい。

特定相談支援 127名 障害児相談支援 13名 一般相談支援 5名 計 145名

5) グループホーム(共同生活援助)

※定款(1)6

今年度も感染状況により、外出や他事業所への通所を中止したり、外出内容の変更があったりしました。利用者の方も状況を理解されており、大きな問題なく過ごされました。

木曜日に移動支援を使って歩行を続けてきましたが、職員の退職により継続が難しくなったため、GH 支援として続けていくことにしました。必要に応じて買物や個別支援などにも切り替え、支援の充実を図っていきたいと思います。

アテンティブ訪問看護ステーションの事業縮小に伴い、訪問看護ステーションミントへ5月から変わりました。以前同様月2回訪問していただき、利用者の方の体調面を見て頂いています。

2月、世話人よりコロナ感染者が出ています。その後、利用者4名も感染が確認され、12日間ほわいとを閉めています(週末帰省をさせてしまい全員自宅療養)。帰省の判断を誤り、ご家族にも感染させてしまう結果になり反省しています。家族を含め重症にならなかった事だけが幸いでした。



今年も赤い羽根共同募金で助成金を頂きソファを購入させて頂きました。

6) 行動援護従業者養成研修 同行援護従業者養成研修 兵庫県指定

※定款(1)2、3、10、24

行動援護従業者養成研修

令和3年7月11日～令和3年7月25日 修了者 18名

今年度もあかりの家の施設長はじめ、法人の職員の皆さまなど多くの講師陣にご支援をいただき開催に至りました。コロナのため受講生を半数にするなど感染予防対策を行いました。法人のヘルプステーションの職員もオンラインで講義の視聴、演習に取り組み見識を高める機会になりました。



同行援護従業者養成研修(一般 応用)

令和3年9月11日～令和3年9月25日 一般課程 15名 応用課程 13名

元国立神戸視力障害センター 歩行訓練士 淵上先生

神戸医療福祉専門学校 吉野先生

しした眼科クリニック 宍田先生先生



交通機関の利用の実習では、「神姫バス」様、JR西明石様のご支援を得ることができました。
ありがとうございました。

7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

第1回グループホーム設立・運営委員会

令和3年6月6日曜日10:00～11:30 デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催

家族等15名(内オンライン8名) 職員2名

議事内容 今年度の活動について 現状の物件の候補等について 意見交換

第2回グループホーム設立・運営委員会

令和3年10月3日曜日10:00～11:30 デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催

家族等10名(内オンライン6名) 職員2名

議事内容 グループホーム見学の調整 アンケートの報告 意見交換

第3回グループホーム設立・運営委員会

令和4年2月6日曜日10:00～11:30 オンライン(zoom)のみでの実施

家族等6名 職員2名

議事内容 見学の報告 今年度の活動 次年度の活動 意見交換

第1回グループホーム見学

ケアホーム たけはし(社会福祉法人あおぞら)

家族等12名出席 職員2名 計14名

ライフセンター神戸の住谷施設長にご案内をいただいた。



第2回グループホーム見学

上野丘さつき会の新設ホームの見学

家族等 名 職員3名 計 名

上野丘更生寮の丸山施設長に
案内や説明を頂いた。

見学報告は設立・運営委員会でも
行った。



8) その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1, 2に該当する活動を直接的には実施できていません。しかし昨年度同様に各プロジェクトなどを行うあたり啓蒙・啓発の活動にはつながっています。さらには、KOBE WEST NET や 135E ネットの活動を通して地域福祉に関する調査・研修・発表事業を実施することができています。

9) 未実施の事業

※定款(1)4、5、7、11、12、15、17、18、19、20、22、23

においては、令和元年度は機会が持てず実施できませんでした。

次年度以降の実施課題として準備していきます。

3 事業実施体制

(1) 会議に関すること

① 総会 令和3年6月13日(日)10:00~11:00

出席者 46名 (正会員 36名 理事 10名) ※委任状 19名

② 理事会

○第1回 令和3年5月26日(水)18:30~20:00

出席者 12名 内オンライン参加 5名

議事 令和2年度事業報告 令和3年度事業計画案他 総会に向けて

○第2回 令和3年9月15日(水)18:30~20:30

出席者 11名 欠席 1名 オンライン参加 5名

議事 事業経過報告 今年度の予定 意見交換 他

○第3回 令和3年12月1日(水)18:30~20:30

出席 10名 欠席 2名 オンライン参加 4名

議事 事業経過報告 他

○第4回 令和4年3月2日(水)18:30~20:00

出席 10名 オンライン参加 4名

議事 令和3年度事業報告 令和4年度事業計画等

③ 職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 令和3年10月23日(土) 9:00~10:00 事務連絡 安全運転等について

出席 16名

第2回 令和4年3月12日(土) 15:30~17:00 令和4年度事業計画について

出席 16名

④ 運営委員会

所長 事業長 事務長 課長等 出席

4月22日(木)13:30～15:30 5月20日(木)13:00～15:00 6月17日(木)14:00～15:00
7月29日(木)13:00～15:00 8月19日(木)13:30～14:50 9月16日(木)13:30～14:30
10月28日(木)13:30～15:30 11月25日(木)13:30～15:30 12月16日(木)13:30～15:00
1月20日(木)13:30～15:45 2月17日(木)13:30～15:30 3月17日(木)13:30～15:00
議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等

⑤ 各事業会議

1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 常勤職員

議題 事業内容 個別カンファレス等

4月17日 5月15日 6月27日 7月24日 8月21日 9月8日 10月20日
11月18日 12月19日 1月20日 2月20日 3月19日 計 12回

2)就労会議

所長 管理者 支援スタッフ

議題 事業内容 作業内容 個別カンファレス等

4月21日 5月19日 6月16日 7月21日 8月18日 9月8日 10月20日
11月17日 12月15日 1月19日 2月16日 3月16日 計 12回

3)デイサービス会議

デイサービス 生活介護(余暇型)スタッフ

議題 事業内容 個別カンファレス等 (+デイプロジェクトに関する会議)

4月14日 5月12日 6月9日 7月14日 8月11日 9月8日 10月13日
11月10日 12月15日 1月19日 2月16日 3月9日 計 12回

4)相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換 その他随時引継等を行う。

4月6日 4月30日 5月6日 5月21日 6月4日 6月23日 7月21日
7月28日 8月3日 8月17日 9月16日 9月23日 10月18日
10月28日 11月16日 11月30日 12月15日 12月29日 1月21日
1月31日 2月18日 2月21日 3月29日 計 23回

5)グループホーム会議

管理者 サービス管理責任者 世話人

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、

利用者個別カンファレス等

8月6日 10月8日 12月10日 2月11日

(2) 研修に関する事

① 外部依頼(講師派遣)

今年度の講師派遣は、地域移行に関する研修のシンポジスト(実践報告)※オンライン及びピアサポーター養成研修のシンポジスト(実践事例について)にて神戸市保健センターより養成があり、理事長が出席して報告を行った。

また、NPO 法人ウィズアスより依頼があり権利擁護研修の講師を理事長が行った。

① 職員全体研修

第1回 職員研修 令和3年7月24日 10:00~15:00

10:00~11:30 安全運転研修 講師 損保ジャパン 安田氏 トヨタレンタリース 太田氏

車両リースの担当者から安全運転に関して
レクチャーを受ける。事故の発生のメカニズム
から事故を起こさないためのアドバイスなどを
ご教授頂いた。



13:00~15:00 ぱれっとアワード 寄玉氏

研修前に理事長が法人の理念や活動
などを動画で流してみてもらう。その上で
ぱれっとらしい活動を行っている人を
それぞれが理由もつけて発表し、グループで
検討して一番すぐれていた人を表彰すると
いった研修を寄玉氏、企画進行で行った。
人のプラスを見る事、それを伝える事など
研修を通して多くの学びがあった。



第2回 職員研修 令和3年10月23日



(午前)

神戸市障害者スポーツ協会 副センター長 大久保氏
神戸市出前トークからお願いしてお越しいただき障害者
スポーツやパラリンピックの歴史などについて教えていた
だいた。

障害者支援に携わりながら、スポーツについての認識がないことを実感するとともに、障害者スポーツについて大きな学びをえた。

また、障害当事者の頑張りだけでなく、スポーツ協会のような支援の仕組みがあることが、スポーツを支えていることも理解しました。



(午後)

盲導犬について学ぼう 講演及び体験研修

講師 兵庫盲導犬協会様



視覚障害者、盲導犬について講演をいただいた。視覚障害者のこと、盲導犬の役割、ニーズ、育成など幅広く多岐にわたりお話をして頂いたあと、デモンストレーションや体験をさせていただいた。

第3回 職員研修

令和3年3月12日(土)9:30~12:30 市民救命士講習

神戸市防災総合センター様のご支援により実施した。受講生 17名

13:30～15:30 虐待防止・権利擁護研修

理事長が講師となり研修を実施（Zoom での研修も実施）する。すでにヘルパー研修で実施した「虐待防止・権利擁護研修」受講者を除き全職員が対象で行った。

② ヘルパー研修 ※コラージュ報告参照

③ 外部研修（研修名 主催 参加者数で記載）

- ・市内特定相談支援事業者連絡会 & 研修 神戸市 延命
- ・神戸市精神障害者地域移行・地域定着推進事業検討会 神戸市 川田
- ・同行援護について 眼の会 川田
- ・法令遵守の管理体制 市民福祉大学 花田
- ・介護事業者がおさえるべき労務管理のポイント 介護労働センター 花田
- ・医療的ケア児支援者研修 社会福祉士会 浅井
- ・医療的ケア児コーディネーター研修 社会福祉士会 浅井

今年度は、内部研修の他、行動援護や同行援護での研修に力を注ぎコラージュをはじめとするスタッフはここで学びをえることができました。一方、コロナの影響もあり外部の研修にあまり参加することができませんでした。今後はオンラインでの研修も増えてきているので研修計画を見直し取り組んでいきたいと思えます。

④ ネットワーク主催研修

KOBE WEST NET では、虐待防止研修や盲導犬の研修などが開催され参加をしてきた。135E ネットの研修は、感染予防、コロナ対策研修や虐待防止研修が開催され主催側ではあるが参加をしてきた。

⑤ 職員育成研修

今年度は行動援護の研修にて3名の職員やヘルパーが参加し修了した。

同行援護の研修では、一般・応用合わせて5名の職員ヘルパーが参加し修了した。

(3) 広報に関する事

ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理や更新をしていただく。

細目に更新をお願いして、活動の様子や寄付などのお礼、広報誌などを掲載した。

法人広報誌の発行 年4回

4月号 新年度の挨拶 コラージュ移転案内 会員募集案内 等

7月・10月合併号 コロナ禍の取り組み コラージュ ほわいと 就労の職員から 等

1月号 新年あいさつ デイサービス 相談事業の職員から 図書館カフェのスタートについて 等

デイサービス広報誌発行

毎月発行 月の予定 行事等の報告など

(4) ネットワークに関する事

1) KOBE WEST NET (西区自立支援協議会)

各種ネットワークに参加している。(担当者制にて実施している)

くらす部会(川田) まなぶ部会(川田 中原)に参加

今年度はコロナにより実施回数が少なかった。オンラインでの開催も広がった。

2) 明石障がい者地域生活安心ネットワーク(135Eネット)

理事(川田) ARTSHIP明石担当(川田)

ひなたぼっこコアメンバーとして参加(川田)

3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる連絡会等に参加。主に相談支援事業所の事例検討会、連絡会、交流会等に主に参加している。コロナの状況によりオンラインでの開催になっている。

4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会は今年度開催されず。総会及び研修会にはオンラインで参加

5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっと グループホームほわいとの所在地域の自治会に加盟している。

枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

(5) 地域とのつながり

ふれあいフェスタを11月に予定していたが、コロナのため中止した。

次年度は開催できるように進めていきたい。

4 管理部門

(1) 労務管理

昨年度からの取り組みになるが、働き方改革より、勤務時間管理を各事業長が軸となり行い進めた。有休管理も合わせて実施している。有休の消化も進んでいる。ただ変形労働時間制は管理が難しい。今後検討が必要である。

(2) 職能評価の実施

特定処遇改善手当に対しての職能評価を今年度も実施している。また、働く上での目標作成や定期

的な振り返りを行うためD-cupシートの作成し面接も行った。職能評価については、課題も多い。実施側のスキルなども求められる。今後しっかり検証しながら、努力し成果をあげ、利用者支援を向上させた者や法人に貢献したものが評価される仕組みを作り上げていきたい。

(3) 車両

公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。車両に関する知識も高く、車両の把握、車検等の段取りなどもしっかり出来ている。また修理等への対応力も高く、経費の削減にもつながっている。

安全運転講習、福祉有償運送の運転者には、研修や適性検査なども実施した。しかし、今年度も人身事故が数件あった。単独事故も数件事故報告も上がってきた。加えて車両に傷があっても報告が上がらないケースが来年度もあり今後検討が必要。以下実施事項

- ・安全運転管理者 研修受講及び全職員への報告 安全協会からの広報誌等の回覧の実施
- ・整備管理者 点検、車両業者との連絡調整等の実施
- ・配車担当 通勤者 公用車の配車調整を行う。

(4) 防災

1) 点検 業者による点検が、グループホームほわいとにて年2回あった。

1) 防災訓練

就労 デイサービス

令和3年6月18日 令和3年11月15日 避難訓練実施

令和4年1月17日 避難訓練(地震想定実施)

ほわいと

令和3年7月1日 令和3年11月16日 避難訓練実施

(5) 組織体制(3月31日現在)

1) 役員 理事10名 監事1名 計11名

2) 職員 正規職員 10名 契約職員 2名 非常勤職員 35名 計 47名

役員に変更は無し。職員は2名が契約社員から正規職員に昇格した。3月末までに正職員1名が退職した。